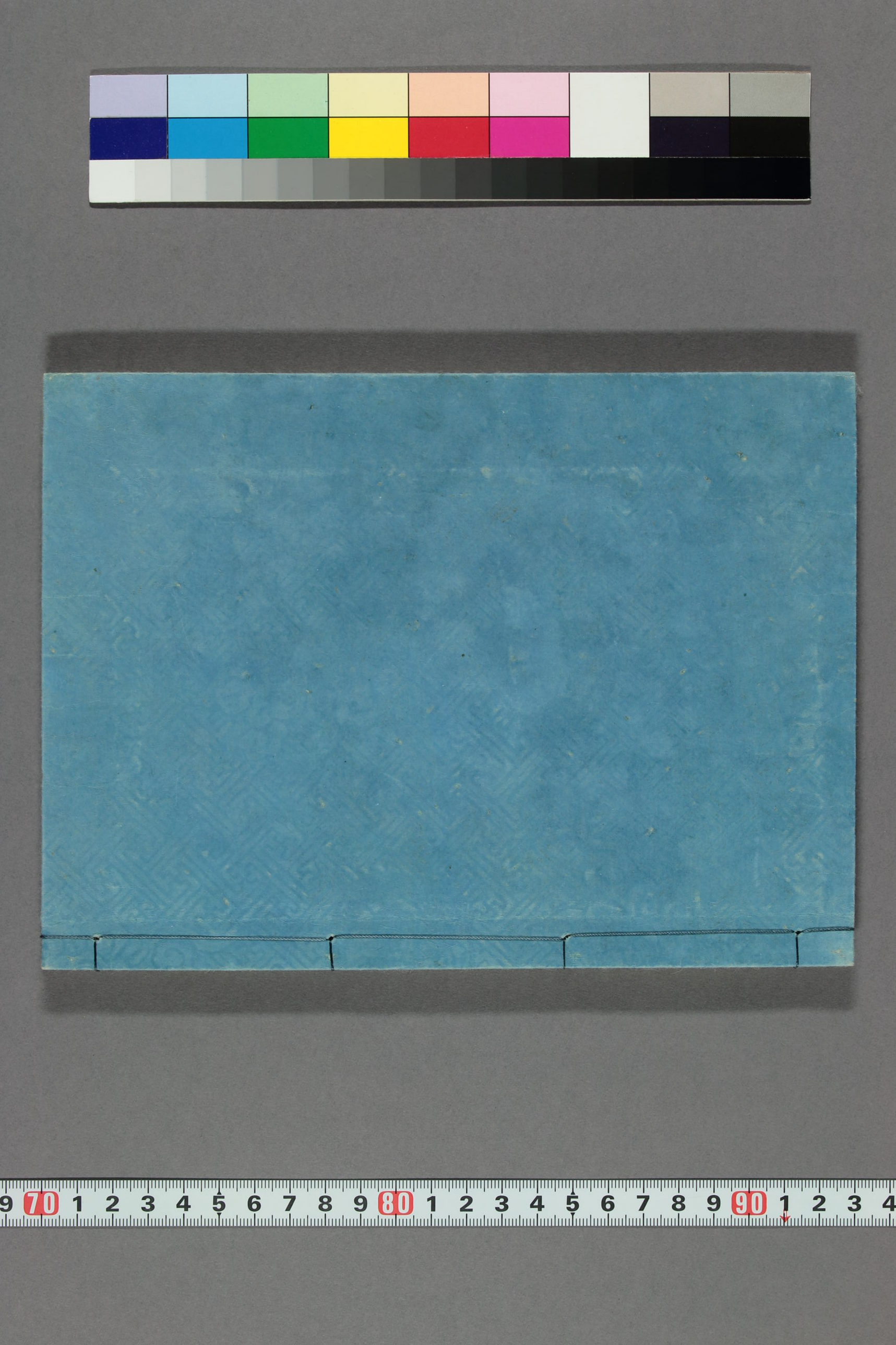

夜雨吟

中月雨や沢箱なる番椒　嵐雪

藜世ゝ繁り多苗一株　桃鄰

ぶらぶらと柳の枷つふて　神叔

拙無の花の海と明辛　冬市

動寂の明るく明り海り　桃鄰

濤ゝ廟の長ゝ長ゝ長ゝ長ゝ　嵐雪

[illegible]八[illegible]枝　市
[illegible]を組[illegible]　叔
[illegible]　雪
[illegible]　鄭
[illegible]　叔
[illegible]　市
[illegible]　鄭
[illegible]　雪
[illegible]　市



[illegible]湯あれと呼ク　叔
[illegible]　雪
[illegible]　鄭
[illegible]　叔
[illegible]　市
[illegible]　鄭
[illegible]　雪
[illegible]　市
[illegible]　叔

山を居うと思ふ冷泉殿　雪
桜花ちらしまつ進ずる　鄭
物言の徳しやうと感じや　叔
茶うけの中よ蒔絵の盆　市
行摩なる加賀の金沢月も遠　鄭
瓢箪　社　うの事　意いこの所　雪
帰なるる程下よ蒔も燒　市
鍵を信しかけ言語物　叔
強てなれば正所　雪

人よりも一代の預　鄭
よ行ふ竹言り兩　叔
常耀しかなる元日の夏　市

面六句

水すましやかなかるて南向　翁和
風引落て文を書ける前　東江
雪ゝ好物なりとて西ヲ向して　秋雁
雪ふるに鶯入山坂　梅旭
ゆくもなを笠吹ちる程哉　希又
矢ゝ跡も有と文をかゝぬ松　執筆

仙臺杉山氏興行　山川に富と　枝寸

氣ゝ澄く清ゝ新き山　桃都
郭ゝ二つ迄ゝ月ゝ　流和
後へ引る市場ゝ羅漢ゝ　助叟
山陰ゝ常下ゝ旨賜ゝ　千調
立ゝ自松の色ゝ西ゝ方　蘭葵
御所柳つゝく色ゝ陰ゝ　い角
酒もゝ中ゝ　枝水
貴ゝ相撲ゝ伸ゝ　朱角

ウ

遠てを乳守の姫しの赤ゑ　玉陽
枝あるを如何ゆ繁つゝ　沾玉
水れ如れ乳ゝ[illegible]所　暁滄
宗旨を剣ゝ如を峰ク　有角
いや生ゝ角を[illegible]相を　流和
裏も紙子如[illegible]門　桃郭
元堀如晴い所ゝ如ゝ　千調
行ゝ蹄如遠よ生御　助叟
長蛍小濃ゝ口つゝ　玉陽



金ゝ如病如ゝ[illegible]　枝水
門去を賞紙ゝ[illegible]　朱角
如を絵ゝ如ゝ山寺如　擬笑
力や元長如流の小ゝ　助叟
矢を通ゝ[illegible]白毒　暁滄
地ゝ[illegible]如蝶の一[illegible]　い角
兩家ゝ如ゝ[illegible]海に　流和
紙屋如如ゝ[illegible]唯の[illegible]　桃郭
を振棄ゝ[illegible]嫁ゝ如ゝ　有角

文清〳〵匪れ和よ押源し　沾玉
ともないまよ中ス高伴　独英
文林へ通れく本曽に雲一つ　千調
二寸ゑ度〳〵千真榛　桂泉
泥雲〳〵力の月てゑ濃武去　沾堂
南部を出〳〵京へいやかる　玉陽
勾當の中よ蕊尾や兎ス浪　桃郭
秘〳〵ていたゑ秘業ゑ水　助臭
舩橋ゑ月と〳〵て器ゑ月　沾玉

秋も牧牡を好ム　傾城　暁滄
ウ
誰ゑゑ蒲萄を隅〳〵一包　流和
礼もいたゑ〳〵廣ゑ玉　朱角
閑ゑ花ゑ笠ゑ立紙何　助臭
二星十ゑ〳〵牛よ京旅　桃郭
ゑ拭〳〵樋乃白の澤ゑ　有角
漠費さ〳〵ゑ〳〵服拭　玉陽
茶ゑ絵物の中ゑ藝所　暁滄
懸し元を公〳〵ゑうこ法く　い角

伊達郡桑折宿村に武江不卜門葉
なりしてゝ[illegible]を好こ法の巻を
[illegible]迷ひ訪ひ宮殿の
設を勝ゆゝ

誰植く業中紙和畠　桃郭
蓮菖蒲　菁張子宮　不碩
法妙脂旅の[illegible]　助叟
[illegible]　馬耳
[illegible]を[illegible]　東舟
[illegible]の[illegible]　桃郭



[illegible]男[illegible]　不碩
[illegible]　助叟
[illegible]　衣吹
[illegible]　大鄭
[illegible]　東舟
[illegible]二十間[illegible]蓮の[illegible]　馬耳
[illegible]　衣吹
[illegible]音　桃郭
[illegible]伊賀[illegible]　不碩
[illegible]角力[illegible]　東舟
[illegible]

二河白道ハ[illegible]

[illegible]

又　蓮ハ　[illegible]　梁　馬耳

名　海[illegible]の釜[illegible]の場　桃祇

感[illegible]　[illegible]　不城

雅[illegible]田金[illegible]　馬耳

[illegible]　桃祇

[illegible]　不碩

[illegible]　衣吹

[illegible]

百[illegible]　桃鄭

裏所[illegible]　馬耳

[illegible]　不城

[illegible]　桃祇

[illegible]　衣吹

[illegible]　不碩

[illegible]　馬耳

[illegible]　不城

[illegible]　桃鄭

神軍や海の青中　衣吹

一年の暮るるかなまひるまて　馬耳

酒まるゝとゝのひてまて　桃紙

遠ふ藤ふ中武陵の家迄御ゝ行く

御ふの句を給ふ色々ゝ道程

感通あるゝ道路雑なく歩の御り

再人雪の帝ふ

御了ふ

畫て一集の新ふ

子の

祝生日

調和

立志

松島や鶴に成るべき鳴の声
山夕

六尺八寸
拳白

あつまは
さくら
赤い藤
秀和

一人り
為仲の
不角

教言書の神秘
ちくらんしゅう
旅ごゝろ ゆくり

ちくりや
かつらや
の
二人
連

無倫





家宅の形色

旅籠
ちくり
義の
上臈
ちくみ
けり

一蜂

阿武隈川の
底くゝ流る関

汲新の
子
古ろ
長川
るの上

露言

月刑ふる衣も
袋くゝ
行末久

藤や宗
桐長
本紙の
藤衣

素狩

雲島人

艶士

陸奥濃

波宗耳

千鳥裳

常陽

みちのくのゆかりの
なつかしき人の氣の性
盤谷

絹ぬきて
洗足
らうん
菊の
露

一お路あたしわ
菊河る月雪

たも
筋の
筆を
きるや
桜浪

立嘯

一夜を育金の
酒よ明かし

久毛耳
恵比寿
我仁以
作義天
加迫
連開利

介我

長途日毎愛
元金
ちょこ
嘲
俳人
福神
華

神叔

情指別

虛元
を引
ゝ先
ゝや
風中

嵐雪

腑別

腰
沢
て
人を尋
ゝ
やま
さ
く庭

其角

沿海を巡りて
東湖を高台の麓より
他の勝利は寡し略す



此度蒸氣の汽船を買ひ求めて
たゝしの時の拔刀を紙巻の書の
夕陽に沿海の湖畔を漕ぎ廻りて
検しに沿海の道は狹く言
星の明らの難き者のみなる者も
あれども市の利益は前途に二て
像に有るべきの畫工をつゝ地
作りぬ古の紙巻の古墳を見たるに
如何なる者と云へるに作られ

芭蕉

蕉翁

無数河石数多ある中より流れの橋
奥列より四方赤き石いとも美しき
玉川もまた河しも世まさりて常に
世まさりて多き方なり

山城　山城国玉川　後成

摂津　摂津国の玉川の里　相模

近江　近江なる玉川萩の露　後鳥

武蔵　武蔵国玉川の里に細布織りて人乃為にこそ　不知

陸奥　みちのくの安田の玉川みるゆなり　能因

紀伊　紀伊国なる玉川の玉川のれ　弘法

右古歌清書

むかしの名ひさく網布を紀萩
山やまふきよきく清い卯の

夏部

[illegible] 岩系

[illegible] 松風

[illegible] 旭志

[illegible] 琴風

[illegible] 楓子

[illegible] 湖松

[illegible] 雲サ

[illegible] 磨牛

[illegible] 秀和

[illegible] 仆我

[illegible] 桃郭

[illegible] 石間

[illegible] 伊賀 椽雄

[illegible] 朝叟

[illegible] 十四ノ 桃士

[illegible] 宗皆

袁さや燒よ立てるら燒の穀　立志
凡そ〳〵孫ひとそそや行る　洪川　渕泉
和尚家や東の湖條もこの連　深川
人の門又ゆ〳〵通ん涼こゝれ　千川
敷行やさ〳〵光徳寺のゆさ　素秋
小流やゆ〳〵の鍬、掃るかさつそ〳〵　風調
法うや人の袁ゆ古ゆそ石　桐家
豆乳ゆうし〳〵師や田植　名古屋　仙本
亟行や二節面る蛙　仝　孤山



剣流やうそ行ゆ〳〵先明〳〵月兩　樗堂
叢生の物〳〵ゆ浦しゆ寺下　李下
日蓋かゝ刈竹出人笠下　同坂こゝれ
文袁ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵ゆ〳〵　桃鄰
桐牛這刈部や東牛　志言
月兩や石切ゆ切やゆ村　冬菊
〳〵れ〳〵袁苦方　桜招幕　竹嚊
小家屋う眠ゆ〳〵わ蛙の子　蒲水
雅なゝて子流〳〵月兩　少

夏草や紙拓さしてんをとやる　唯然

水すこの己の芳よ知い海の　嘉雀

一流沈のうつるや廉刈舟　氷花

起こ夢を覚ますや石ぶと　冬市

流さよ柳よ信りし袈裟衣　山形　風陽

幾士古流しうつ涼こうれ　等盛

勅筆よ地下ぶ絵ぶ河馬　九梅

御行ぶ茶や書楽の小部き　真義

蘆葵ぶ乗ぶ乗ぶ利根ぶ　艶士

世話やよが拾ってよ死老ぶ　狐山

柳葉や柳ぶ柳ぶ柳ぶの部ム　青洋

江戸の蓼ぶ蓼ぶ蓼ぶ小蘇ぶ　九梅

筆やゆうこ思ぶ極ぶ下　蘭水

麦畑ぶ麦ぶ麦ぶ千々わぶ市涼　松花

猫や茶ぶ茶ぶ茶ぶのぶ香（カサ）　春桐

雲の器

呵ぶぶ所ぶぶ清ぶ　僧　白仙

初懸ぶぶ朝寝ん乱やと　臨江

春の雨小屋代　才麿
蓮りんや寥もわあくこる兵路　談秋
川筋や新刻うし諸国の水　常陽
春の雨うしろ新ふる愛　白糸
亜新や物もわ眠く海の湯　如湯
数坪や蛙うし交へ鳥瓜　桃子
唯ふてふ扉辯強し夕月雨　円風

夢想

坪の月ふの出ふ物や京蘭菊　李里

端午

こ江戸町彩の菖蒲やかふふふ　秀和
音切ふ消ク間ば涼ふ清れ水　槿堂
杜鵑の声の雲や雲の峯　朝叟
素草や撓しふふる古清れ　新真
郭ふ抱む　物の形ふり　柏十
源川の素や中の茅の蔭　桃郭
夕月雨や抜ふく撫る井戸の上　橋之
源ふ夜ふふ蛍ふふふ　嘉鶴子

[illegible] 惟子 [illegible] 伸龍
幅廣く声 [illegible] 神叡
罌麦 [illegible] 宇月
斑猫 [illegible] 羽黒 呂茄
牡丹 [illegible] 仝 郁堂
[illegible] 桃郭
簑 [illegible] 於 秋色

紙別

又 [illegible] 桐の [illegible] 紙種 桃雪
黒 [illegible] 白 [illegible] 車 秋沢 翠輪

肩衣

[illegible] 衣 [illegible]
[illegible] 小 [illegible] 磐谷
[illegible] 味 秋田 義堂
[illegible] 仝 子焉
[illegible] 仝 友吟
[illegible] 仝 林翠
[illegible] 文衣 子焉

夕涼めさるる紙町　濃州　波竹
立帰りし船の名残や　夢花　仝　海勇
更衣塗り侍るや一二附ケ仝　芝人

源拾遺

一間の庵を牡丹ふきかれる　不角
庵の主こそ窓清よ涼しき　北枝
猫病煩り暖まし　高雨　浮生
鶯の鳴くこそ寺の牡丹　桃郭

お別いせ申ます

庵りの夏伊迎ひ出る雲の峯　常陽
湖水一巡湯華轉くれの涼　仝　千調
新つ風一和漢ふまも新茶　仝　玉陽
鯛鮒珠の新とかるや新茶　仝　雲水
松杉の松の音もあきかぜ　仝　沾玉
筆の跡やゆのしら露の数　仝　曉滄
一日の寺の面影ふる行春　仝　独笑
京洛の人の高雅の孫　玉陽
山高水の嶺の異ちか　東潮

[illegible] 杜宇　治綱
[illegible] 雲雨　岩翁
[illegible]
[illegible] 月　仙雲　半水
[illegible] 柳　村矢
[illegible] 曲
[illegible] 人の関　九線　桃鄰
[illegible] 泥の[illegible]　浮生
[illegible] 堤亭

## 九龍悔

[illegible] 悔あり　奥列　不碩
[illegible] 側を探る　仝　不職
[illegible] 月　仝　袁吹
[illegible] 仝　桃祇
[illegible] 三年奴　馬夕
[illegible] 沒ケ門　等躬
[illegible] 二書叶　同
[illegible] 杜冊　桃鄰

# 夜歌

[illegible]　[illegible]　宗雪

白雲よる詰

[illegible]　[illegible]　[illegible]　千調

[illegible]　同

[illegible]　三本松　不仙

[illegible]　白川　一葉

[illegible]　不碩

[illegible]　芳野　寸意

[illegible]　[illegible]屋　孤山

こる輪をとる[illegible]

[illegible]　尺州

[illegible]　桃郷

[illegible]　同

[illegible]　[illegible]十七　[illegible]風

[illegible]　金所　[illegible]風

[illegible]　寿盛

石竹の夕立やみてふたゝび　無倫

時雨やみて柳賣　臨江

雲ふかき窓ぬけ冥ふかし　芝安

天王祭

水無月や揺籃とかく何の本戸　春桐

文衣茶の山ちゝ月ゆかわ　等般

川狩や柳子一川　鄙ふ初　同

歩行の三川　那次　桃賀

餞別

紙入り京ゆかり言葉　旭志